

2024年9月26日
株式会社 Soracle

Soracle、JAL から大阪・関西万博 「空飛ぶクルマ」 運航事業を承継 ～Archer 社 eVTOL “Midnight”にて大阪・関西万博 デモンストレーション運航を実施～

空飛ぶクルマ(以下「eVTOL」(※1))の運航事業開始を目指して住友商事株式会社(以下「住友商事」)と日本航空株式会社(以下「JAL」)が2024年6月に共同設立した株式会社 Soracle(以下「Soracle」(※2))は、2025年日本国際博覧会(以下「大阪・関西万博」)における未来社会ショーケース事業 「スマートモビリティ万博 空飛ぶクルマ」の協賛契約を締結し、JAL から運航事業を承継しました(※3)。

これを受けて、Soracle は米国 Archer Aviation, Inc. (以下「Archer 社」)と大阪・関西万博における「空飛ぶクルマ」デモンストレーション運航プログラムに合意しました。

【大阪・関西万博「空飛ぶクルマ」運航事業概要(予定)】

- 運航形態：有人飛行による二地点間及び周遊デモンストレーション
- 運航地点：大阪・関西万博会場及び大阪へリポート
- 使用機材：Archer 社が設計・開発する eVTOL “Midnight”



大阪・関西万博会場 提供：2025年日本国際博覧会協会



Archer 社とのプログラム合意時の様子

Soracle は大阪・関西万博「空飛ぶクルマ」運航事業を契機に、eVTOL の社会実装の早期実現に向けた準備を加速し、地球に優しく、より身近で新たな空の移動価値の創造を目指します。

■Soracle 概要

社名 : 株式会社 Soracle
事業内容 : eVTOL による航空運送事業 (許可取得予定)
設立 : 2024 年 6 月
代表者 : 代表取締役 太田幸宏・佐々木敏宏
所在地 : 東京都中央区
ホームページ : <http://www.soraclecorp.com/>



■Archer 社概要

社名 : Archer Aviation, Inc.
事業内容 : eVTOL 設計・開発・運航
設立 : 2018 年
代表者 : Founder & CEO Adam Goldstein
所在地 : アメリカ合衆国カリフォルニア州
ホームページ : <https://archer.com/>



■Archer 社 eVTOL “Midnight” 概要

Archer 社が設計・開発する 4 人乗客(パイロット除く)ベクタードスラスト型の eVTOL。当該機は米国における試験飛行の実績を重ねており、2025 年末までの FAA(連邦航空局)からの型式証明取得、2026 年の商用運航の実現を目指しております。

【運航性能】 最高速度 240km/h・航続距離 160km・最大積載量 454kg

(※1) 電動垂直離着陸機 Electric Vertical Take-Off and Landing の略称

eVTOL は、既存の航空機と比較し、電動のため駆動時の温室効果ガス排出量が格段に少ない、次世代エアモビリティです。滑走路が不要で離着陸時の騒音も小さく、機体の部品点数が少ないことも特徴です。自律飛行(予め設定した飛行ルートに沿って機体を自動飛行させる方法)を視野に入れた開発が進められており、eVTOL の社会実装によって、新たな空の移動価値の創出に貢献することが期待されます。

(※2) JAL と住友商事、eVTOL 運航事業会社を共同で設立~空飛ぶクルマによる新たな空の移動価値の創造を目指して~
<https://press.jal.co.jp/ja/release/202406/008100.html>

住友商事と JAL、eVTOL 運航事業会社を共同で設立~空飛ぶクルマによる新たな空の移動価値の創造を目指して~
<https://www.sumitocorp.com/ja/jp/news/topics/2024/group/20240603>

(※3) JAL、2025 年日本国際博覧会未来社会ショーケース事業空飛ぶクルマの運航事業者に選定
<https://press.jal.co.jp/ja/release/202302/007232.html>